

スカウト・オウンは、加盟員各自の信仰心を高揚するために行われ、それはちかいとおきての実践をより深めるものである。

1. スカウト・オウンとは、“**Scouts ‘ Own Service**” のことです。
つまり、「**スカウト自身による礼拝**」です。

以下のような意味も含まれます。

“Scouts ‘ Own Service **of** the scout”

“Scouts ‘ Own Service **by** the scout”

“Scouts ‘ Own Service **for** the scout”

宗教、宗派にとらわれるものではありません。

2. スカウト・オウンの形式

- ・自由です。出席は自由。いつやっても OK です。
- ・通例、朝礼後開催が多い。
- ・司会は、スカウトまたはリーダー

例 1

「今からスカウト・オウンを行いますので、声が聞こえる範囲に集まって下さい」と説明し、集まってもらいます。

①瞑想（目を閉じる）

②静かな歌（光の路、そなえよつねに、永遠のスカウト、われらの旗、スカウト達よ、平和の騎士、バラが咲いた、手のひらを太陽に
KUM BY YAH など）

③お話（ふさわしいものなら何でも OK）

④おきて斉唱（一人一人、今日一日の実践目標をこめて）

⑤黙祷（一人一人、今日一日の実践目標を誓う）

「これでスカウト・オウンを終わります」で締めくくります。

例 2

上記④のところで、

朝礼の場合： 今日 1 日自分ができることを発表する

夕べの集い： 今日 1 日自分ができたことを発表する

⑤では、

朝礼の場合： 自分ができることを誓う

夕べの集い： 自分ができたことを感謝する

3. 進めるに当たってのお薦め

- ・形式に左右されず、自由に組み立てる
- ・他人が書いた話や例文をそのまま棒読みしない。自分の言葉で話す。

- ・BP のことば、スカウティング・フォア・ボーイズ
- ・自分の体験
- ・インターネットで「スカウト・OWN」などで検索してみる
「ちーやん夜話集」
- ・新聞、ニュース、書物などなど

B-P のことば

私がボーイスカウト活動とガールスカウト活動を始めたころ、宗教について、私の考えをもっとくわしく話すように求められたことがあります。

それは「宗教は、活動にどのようにかかわってくるのですか」というものでした。

そこで私は次のように答えました。

「宗教は、活動に外からかかわってくるものではなく、はじめから活動の中に存在しているのです。そしてそれはスカウト活動の基盤となっている、根本的な要素なのです」

「ぞうさん」の贈り物

ぞうさんぞうさん

おはながながいのね

そうよ

かあさんもながいのよ

大人も子供も知らない人はいないだろう象の子供と母親の仲よしこよしの歌と思っていた

「そうではないのです。象の子が、鼻が長いと、けなされている歌なのです」。

それでも、象の子は、しょげたりしない。むしろ、ほめられたかのように一番大好きな母さんも長いといばって答える。「それは象が、象に生まれた事は、素晴らしいと思っているからです」。

象に限らない。ウサギもイワシもスズメも草や木も、地球に住む生き物たちすべてが、自分であることを喜んでいて。人間だって同じです。

南アフリカに伝わる「ハチドリの話」です

あるとき、山で火事がありました

動物たちは、火事で死にたくないって思い逃げ出しました

ハチドリは、山の中に残り自分ができることはないかと考えました

そこでハチドリは川へ行き、一滴の水を口に含み火を消しに行きました

ハチドリは、諦めずに何回も往復しました

ハチドリよりも体の大きい動物たちは、おまえだけじゃ火のいきおいが強いから無意味だよと言いました

それでもハチドリは、諦めずに往復しつづけました

動物たちがハチドリに、なぜそんなことをしたのと聞きました

ハチドリは、「自分の出来る最大限のことをしただけさ」って言ったのです
困難に立ち向かうとき、みんなが自分たちが出来る最大限のことをしてあげようね

「そわか」の法則

3 / 3

般若心経の最後の部分は「ボウジ ソワカ」と言います。
この「ソワカ」とは「事が成る」「事が成就する」という意味です。
神が人間の成す行為の中で好きなものは、「そわか」の3文字のようです。
「掃除」の「そ」、「笑い」の「わ」、「感謝」の「か」の3文字です。
この3つの行為を続けている人間を、神さまが応援しているように思えます。

「そわか」の1番目は「掃除」です。
神さまは「きれい好き」らしいのです。
「姿かたち」がきれいな人、心がきれいな人、「水まわり」や「身のまわり」をきれいにしている人を神さまは支援・応援します。

2番目は「笑い」です。
「笑い」とは肯定すること、受け入れること、共鳴、共感すること。
「笑顔」や「笑い声」は、宇宙や地球が神の為した行為を、「肯定的」に受け止めた、ということにほかならないのです。
笑える人は肯定的な人、受け入れられる人、明るい人。

3番目は「感謝」です。
「ありがとう」の言葉を言っているだけでいろいろな奇跡が実際に起こっています。
「ありがとう」の源の言葉は「ありがたし」。
人の力ではできないことが成されたとき、「有り得ないこと」（が起きた）たというので「ありがたし」と言いました。
「ありがたし」「ありがとう」という言葉は、神をほめたたえる言葉、神に対しての感謝の言葉だったのです。
人に対して使われるようになったのは室町時代以降のことでした。
「ありがとう」を言われ続けたら、神さまもその人に対して好意的になるのではないでしょう
うか。
「ありがとう」だけでも神さまを味方につけることができるのですが、それに加えて「掃除」と「笑い」が加わるのです。
神さまが強い味方になってくれそうではありませんか。

5. 実際にやってみましょう

メモ

以上